

令和7年度

学 事 報 告



令和8年3月18日（水）

諏訪市立諏訪西中学校

諏訪西中学校校歌

平林たい子 作詞
後町 英昭 作曲

一、湖の光は青く

迫り立つ

山の姿に力あり

われらまた求めてやまず

山のごと ゆるがぬ心

二、母なる地稲田は黄金

たぎり湧く

いで湯の恵みあわれら

ここに生まれて地の熱と

競いて燃えん若き血よ

三、雪霜は真冬の天地

鉄のごと

とぎす氷を我等愛す

いざ来り鍛え歌わん

この丘で勝利の歌を

校歌にそえて

平林たい子

私は厳しい信州の自然の中で生きぬく戦いの気持ちを、若い後輩たちに送りたいのです。進歩も向上もそのことをやりぬく精神の上に立たなければ、中途半端な生温いもので終ってしまいます。昔からきびしい自然に鍛えられた強い精神に、さらに近代的な信念をそえて、この丘から巣立っていただきたいと思います。

作者のことば

後町英昭

詩情豊かな信州、その詩情に力あふれる歌詩、のイメージに沿って曲しました。

各節の二行目、三行目

「迫り立つ

山の姿に力あり」

どのように表現するとイメージにマッチしたものができると思索しました。

「いざ来り鍛え歌わん

この丘で勝利の歌を」

と、ありますが、試験に優秀な成績を修めたり、試合に優勝することばかりでなく、一人一人が未来に雄雄しく羽翼く人財に成長して下さい。そして幾年か後に鍛え合ったこの丘で、全員が胸を張ってこの母校のこの勝利の校歌を声高らかに歌ってください。

I 在籍生徒数・学級数 (令和8年3月18日 現在)

1	生徒総数	男子	154名	女子	147名	計	301名	
2	卒業生数	男子	55名	女子	41名	計	96名	
3	在校生数	男子	99名	女子	106名	計	205名	
4	学級数	14学級 (内 特別支援学級5学級)						

II 職員数 40名 (令和8年3月18日 現在)

(内訳) 校長1、教頭1、教諭(含講師)26、養護教諭1、事務職員2、教員業務支援員1、栄養士1、司書1、庁務員1、自立生活支援員4、学習支援員1
〔この他に学校医6、学校歯科医3、学校薬剤師1、SC1、ALT2〕

III 登校日数 206日 (1学年206日、2学年206日、3学年205日)

IV 本年度ご協力いただいた外部講師(本校独自)の方々

- ・図書館教育 — 学校支援ボランティアの方々
- ・授業支援(家庭科) — 学校支援ボランティアの方々

V 本校の令和7年度のあゆみ

<4 月>

- 4日(金) 令和7年度 第67回入学式・始業式
- 8日(火) 生徒会入会式
- 9日(水) 避難訓練 部活動発足式(2・3学年)
- 11日(金) 家庭訪問~18日
- 13日(日) 修学旅行~15日
- 17日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)
- 25日(金) 参観日① PTA総会
- 30日(水) 部活動発足会(1~3年)

<5 月>

- 2日(金) 生徒総会①
- 7日(水) 3年総合テスト①
- 13日(火) ~16日(金) ボランティア読み聞かせ
- 13日(火) 第1回西中CS学校運営協議会
- 23日(金) 1年ふるさと学習①(諏訪湖一周学習「SUWAKO THE RICH」)
- 26日(月) 壮行会 以降(土)(日)長野県中学校総合体育大会南信地区大会

<6 月>

- 19日(木) 参観日② 給食試食会 湖南小合同引き渡し訓練
- 26日(木)、27日(金) 1・2年前期中間テスト、3年総合テスト②
- 27日(金) 3年諏訪圏工業メッセ見学

<7 月>

- 3日(木) ~7日(月) ボランティア読み聞かせ
- 17日(木) 1年防災学習(講師 公立諏訪東京理科大 菊地 輝行 准教授)
- 17日(木) 2年校外学習
- 18日(金) 吹奏楽部壮行会
- 20日(日) 吹奏楽コンクール南信地区大会

24日(木)～8月20日(水) 夏期休業

24日(木)～30日(水) 3年保護者懇談会

<8月>

28日(木)・29日(金) 1・2年前期期末テスト 3年総合テスト③

<9月>

2日(火) 避難訓練 以降(土)(日) 中体連新人戦南信大会

25日(木) 第2回西中CS学校運営協議会

25日(木)・26日(金) 第65回鳳祭 テーマ「RUNWAY～勇気が絆を結ぶ～」

29日(月)～10月2日(木) ボランティア読み聞かせ

30日(火) 3年総合テスト④

<10月>

10日(金) 終始業式

24日(金) 3年総合テスト⑤

24日(金) 1年ものづくり講座

27日(月) 避難訓練③

28日(火) 参観日③ PTA講演会(講師 腰塚 勇人 先生 演題「気もちの授業」)

30日(木) 1学年ふるさと学習②

30日(木)～31日(金) 2年職場体験学習

<11月>

13日(木)・14日(金) 1・2年後期中間テスト、3年総合テスト⑥

17日(月)～27日(木) ボランティア読み聞かせ

21日(金) 生徒会立会演説会・選挙

27日(木)～12月4日(木) 三者懇談会

<12月>

9日(火) 小学生中学校体験(豊田小学校・湖南小学校)

11日(木) 1年 小学生への読み聞かせ(西山ハッピータイム)

19日(金) 生徒総会②・生徒会引継会

26日(金)～1月7日(水) 年末・年始休業

<1月>

12日(月) アンサンブルコンテスト諏訪大会

13日(火) 1・2年CRTテスト 3年総合テスト⑦

<2月>

9日(月)・10日(火) 公立高校前期選抜

12日(木)・13日(金) 1・2年生後期期末テスト 3年総合テスト⑧

20日(金) 生徒総会③

<3月>

10日(火)・11日(水) 公立高校後期選抜

13日(金) 3年同窓会入会式 3年生を送る会 3年地域貢献活動

17日(火) 後期終業式

18日(水) 第67回卒業証書授与式(卒業生96名)・離任式

VI 生徒会活動、部活動等

(1) 生徒会活動 スローガン 「FLY～ 光り輝く道の先へ～」

◇軸となる3つの理念と取り組みの具体

伝統・改革 先輩方が創り上げてくれた伝統を大切にしながら、今のルールの見直しと再考をしていくことで、自分たちで西中を創り上げていく意識を一人一人がもてるようにしたい。これまでの西中の良さを生かしながら、メリハリ、時間、任されたことに責任をもつなど、みんなが気持ちよく生活できる学校にしたい。

交流 クラス・学年関係なく、全校が交流できる機会を増やし、お互いを知ることで、西中の雰囲気さらに良くしていきたい。他愛もない話をしたり、協力したり、競争したりすることで、自分や仲間のことをより深く知り、力を合わせて物事を達成する喜びをみんなで味わえる学校にしたい。

個性・仲間 一人ひとりが、それぞれで得意なことや不得意なこと、できることやできないことがあるということを認め合いながら、受け入れ合い、さらに助け合える雰囲気のある学校にしたい。自分や周りの人には良さが必ずあり、その良さを見たり、聞いたり、感じたりできる学校にしたい。

◇重点活動

- (1) 整美・給食・生活の3委員会の活動を柱に。西中清掃三本柱の意識向上、給食準備・返却、服装・チャイム前着席やあいさつなど、生活指導と連動させて推進
- (2) ルールの見直し、再考
- (3) “想” 談ポストの有効活用（全校生徒の意見を募り、生徒会活動に生かす）
- (4) 湖南小・豊田小や地域の方々との交活動の充実
- (5) 鳳祭などの行事の充実と集会活動づくり

(2) 部活動

男女バスケットボール 男女バレーボール 軟式野球 陸上競技 サッカー 剣道 卓球 吹奏楽 美術
*水泳、新体操は、大会引率のみ

各部活動では、強い精神力と体力、技術の向上を目指した。また、活動を通して、礼儀や節度を大切に考え、生徒自身による「計画→実行→反省」の流れを大切にしてきた。それぞれの部活動では、各種大会、演奏会に参加し高い評価をいただき教育効果をあげた。

(3) その他

作文コンテストや美術展、標語、ポスター等に応募し、高い評価を得た。

卒業証書が変わります

背景に折り鶴再生紙
を印刷しています。

～「平和の折り鶴」をアップサイクルした「卒業証書」に～

今年度の卒業生から、広島市の平和記念公園に立つ「原爆の子の像」に贈られた千羽鶴から再生した紙を使った卒業証書が手渡されます。真っ白ではなく、ところどころ細かい色が付いているのが、折鶴からのアップサイクル※の証(カ)です。 ※アップサイクル・・・廃棄物や不用品に手を加えて、価値の高い品物に生まれ変わらせること

Q.1 どうして「原爆の子の像」に折り鶴が 供えられるようになったのでしょうか？

A1 平和記念公園に建つ「原爆の子の像」には、原爆の犠牲になった子どもたちを追悼する折り鶴が世界中から寄せられています。右の写真に写っているのは、令和7年度「広島平和の旅」に参加した諏訪市内4中学校の代表生徒（2年生8名）です。「原爆の子の像」の前で手に千羽鶴を持っています。この後、像の後方にあるブースに千羽鶴を供えました。この「原爆の子の像」はどんな像で、どうして折鶴が供えられるのでしょうか？



今年度、広島平和の旅に参加した藤森友希乃さん（諏訪西中 2年）は、『報告文集』に次のように書いています。

今から80年前、広島に原子爆弾が落とされ、一瞬にして約14万人の尊い命が奪われました。平和記念資料館で被害を受けた方の写真、実際に持っていた持ち物などを直接見ることで、原爆がどれほど恐ろしいものなのかを改めて感じました。実際に着ていた衣服はどれもボロボロになっていました。地表が3000から4000度になったことで熱線によりだらりと皮膚が垂れ下がってしまったり、仏像などが溶けたりしてしまいました。爆風により一瞬で建物が崩壊し、多くの人々が下敷きになり、その後の火事によって生きたまま焼かれて亡くなった人もいました。そして、放射線によって被爆直後だけでなく、白血病やがんなどの症状が何年か経ってからあらわれ亡くなった方もいました。

その中の一人が佐々木禎子さんです。禎子さんは2歳のときに被爆し、奇跡的に無傷でしたが、被爆から9年後の小学6年生の冬の初め頃から首が腫れ、体がだるいと感じるようになり、翌年に白血病と診断されました。「折り鶴を千羽折ると願いが叶う」と聞いた禎子さんは、病気が治ることを願って薬の包み紙などで鶴を折り続けました。お母さんが禎子さんの希望を奪わないようにするため、1000羽を超えたことを隠し続けて最終的には1300羽以上あったとボランティア※の方に聞きました。12歳で亡くなってしまった禎子さんのために、同級生たちはお墓か記念碑のようなものを建てたいと考え、原爆で亡くなった全ての子供の霊をなぐさめるため、原爆の子の像が建立されたことを知りました。

※平和公園ボランティアガイド

全国から送られた募金で、1958年5月5日に原爆の子の像が完成しました。禎子さんと折り鶴の話はニュースや本になり、世界中に広がりました。こうして原爆の子の像には、平和を願う人々が作ったたくさんの折り鶴が飾られるようになりました。



Q.2 どうして折り鶴を卒業証書に再生したのでしょうか？

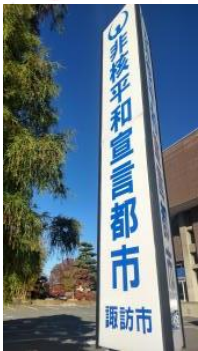
A.2 像に寄せられる折り鶴は、年間約10,000,000羽、重さにして約10tになるそうです。折り鶴は一定期間飾られますが、多すぎて飾りきれないためやむなく焼却処分されていました。広島市は、被爆した方々への追悼と平和を願って作られた折り鶴を大切にする方法はないか考えました。こうして折り鶴再生のプロジェクトが始まりました。2012年、広島市は平和への思いを共有・継承することを目的に、再生紙などに活用する事業を本格化しました。折り鶴は、希望する人や会社などに無償で配られ、再生紙に加工して名刺やはがき、しおりなどに生まれ変わるようになりました。

藤森友希乃さんは、さらに次のように書いています。

今でもたくさんの折り鶴が捧げられて、捧げられた折り鶴は再生紙や卒業証書に変わり、たくさんの人に広がっていったるそうです。これからも平和への思いが感じられる物がたくさんの人に広まって、平和について考えるきっかけになり、自分たちが作った折り鶴が未来に繋がっていくことで平和に向けての一つになるといいなと思います。

一緒に広島平和の旅に参加した古道聡介さん（諏訪南中2年）も、次のように書いています。

諏訪南中2学年みんなの協力で作った折り鶴を捧げるために原爆の子の像のもとへ行きました。そこには全国から来ていた中学生や小学生が折り鶴を捧げていました。自分が思っていたよりもとてつもない量があってすごいなと思いました。しかも全国から集められた折り鶴は再利用として、広島での卒業証書やプリント、紙粘土にもなって使われていく、そんな工夫がされていました。ただ平和を願うだけでなく、環境のことも考えている広島の取り組みに改めて感動しました。



平和学習を大切にしている広島市は、学校生活最後の締めくくりに渡される卒業証書を千羽鶴からの生まれ変わりにして、平和への思いを一層強くして卒業してほしいと願って、被爆から70年の2015年度卒業式から取り入れたそうです。被爆から80年の2025年、諏訪市の中学生はこの取り組みを知り、『報告書』に感じた思いを書きました。『報告書』を受取った諏訪市*では、未来に向けて旅立つ卒業生に「平和の折り鶴」からアップサイクルされた「卒業証書」を平和への願いを込めて送ることにしました。

※諏訪市は昭和59年に「平和推進都市」の宣言をし、昭和63年に「非核平和宣言都市」の宣言塔（市役所駐車場）を建てました。平成12年から市内の中学生を広島平和記念式典に派遣する事業を始め、今年度で24回になります。

Q.3 折り鶴をどのように再生させるのでしょうか？

A.3 まず、鶴を連ねている糸やビーズなどの異物、再生紙として使えない金紙、銀紙、不織布で折られた鶴などは、人の手で丁寧に取り除かれます*1。その後、折り鶴は巨大なミキサーに投入され水と攪拌(かはん)、溶かされて再生パルプのもととなります*2。再生紙を作っている業者の方は次のように話しています。



「折り鶴再生紙をつくるのは、普通の再生紙よりもはるかに手間がかかりますから、どうしても一般のものより割高になってしまいます。それでも、人気が高いのです。見た目が美しいというだけではなく、鶴に託された平和への思いや、昇華(しょうか)*3の取り組みに、皆さん賛同してくださっているからではないでしょうか。」



※1 この作業は、多くの場合、障害者の就労支援施設などで行われています。折り鶴の再生事業は、障害のある方々の雇用にもつながっています。

※2 広島市公式YouTubeチャンネル「折鶴の再生紙に生まれ変わるまで」(6:07)を見て下さい。上の二次元コードで検索できます。

※3 物事が一段高い状態に高められること。

千羽鶴を捧げる ～昨年度「広島平和の旅」に参加した4中学校代表生徒（現3年生）～



上諏訪中



諏訪中



諏訪南中



諏訪西中

令和七年度 卒業証書授与式

式次第

- 一、開式の辞
- 一、国歌斉唱
- 一、校歌斉唱
- 一、教育委員会告辞
- 一、卒業証書授与
- 一、学校長式辞
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介
- 一、祝電披露
- 一、送辞
- 一、答辞
- 一、卒業生の歌
- 一、閉式の辞

以上